⑹ Contact point for the notice: Mituhiro Takemura, Sub Director, Accounting Division, National Hospital Organization Suzuka National Hospital, 3―2―1 Kasado, Suzuka-City, Mie 513―8501 Japan. TEL 059―378―1321 ext.218

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
平成23年3月31日
契約担当者
阪神高速道路株式会社
契約責任者　建設事業本部長　南部　隆秋
◎調達機関番号　421　◎所在地番号　27

○平成23年阪神高速公告第５号

1　工事概要
⑴ 品目分類番号　41
⑵ 工事名　淀川左岸線トンネル換気設備工事（電子入札対象案件）
⑶ 工事場所　大阪市此花区島屋２丁目～福島区大開４丁目
⑷ 工事内容　本工事は、大阪市道高速道路淀川左岸線において、島屋受電所、島屋換気所及び大開換気所にトンネル換気設備、トンネル内にジェットファンを新設するものである。
⑸ 工事概要　電動機内装立型軸流排風機：４台、除塵設備：４系統、低濃度脱硝装置：４系統、消音装置：１式、ジェットファン：34台、一酸化炭素検出装置：２台、煙霧透過率測定装置：２組、風向風速測定装置：８組、制御盤類：１式、配管配線工：１式、上記設備の設置調整：１式、他システムとの総合調整：１式、詳細設計：１式
⑹ 工期　契約締結日の翌日～平成25年３月31日
⑺ 本工事は、あらかじめ指定する技術提案を求め、品質確保のための体制を確認し、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式（標準型）の試行工事である。
⑻ 本工事は、技術提案に基づく実施設計及び施工を一括して発注する設計施工一括発注方式の対象工事である。
⑼ 本工事は、全ての入札参加者から入札価格の工事費内訳書の提出を求める工事である。
⑽ 本工事は、入札を原則として電子入札システムで行う対象工事であり、当社ホームページに掲載の電子入札運用基準を適用する。なお、例外的に電子入札により難いものは、同基準に基づき当社の承諾を得て紙入札方式（郵送による入札のみとし、直接（持参）入札は認めない。）によることができる。

2　競争参加資格
⑴ 工事等請負業者の選定に関する規則（平成17年阪神高速規則第29号）第２条の規定に該当しない者であること。
⑵ 入札時に当社における「機械器具設置」に係る平成23・24年度の一般競争参加資格の認定を受けていること。
⑶ 会社更生法に基づく更生手続開始の申立て又は民事再生法に基づく再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
⑷ 単体であること。
⑸ 平成７年度以降に元請けとして次の施工実績（完成し、引渡しが済んでいるものに限る。以下同じ。）を有すること。なお、共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が20％以上の場合のものに限る。ただし、当社（旧阪神高速道路公団を含む。以下「阪神高速」という。）が発注した工事で平成12年度以降に完成し、引き渡した施工実績の成績評定点が65点未満の工事は施工実績として認めない。また、国・地方公共団体及び公共工事の入札契約の適正化の促進に関する法律第２条第１項の政令で定める法人（以下「他の機関」という。）が発注した工事は、他の機関が施工実績として認めない点数未満の工事も施工実績として認めない。
・道路トンネルの換気設備として据置型軸流送排風機の製造及び設置調整をした工事
⑹ 本工事における技術提案（技術的所見）及び品質確保のための体制が適正であること。（入札説明書参照）
⑺ 阪神高速が発注した工事で過去２年度（平成20年度及び21年度）に完成し、引き渡した実績がある場合に、当該各年度の工事成績評定点の平均が２年連続で65点未満でないこと。
⑻ 次の基準を満たす監理（主任）技術者を下記の現場施工期間、当該工事現場に専任で配置できること。なお、現場施工着手時期は平成24年２月頃を考えている。
① 監理技術者（機械器具設置）又は技術士（機械部門）の資格を有する者であること。
② 平成７年度以降に、元請けの現場代理人又は監理（主任）技術者又は担当技術者として、次の工事経験を有する者であること。ただし、工事経験の取扱いは、⑸の施工実績の取扱いに同じ。
・道路トンネルの換気設備として据置型軸流送排風機の設置調整をした工事
③ 監理技術者にあっては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。
④ 専任の監理（主任）技術者にあっては、入札参加希望者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。なお、恒常的な雇用関係とは、競争参加資格審査申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格審査資料（以下「資料」という。）提出日以前に３ヶ月以上の雇用関係にあることをいう。
⑼ 申請書及び資料の提出期限日から開札時までの期間に、当社から競争参加停止を受けていないこと。
⑽ 申請書及び資料の提出期限日から開札時までの期間に、阪神高速道路株式会社暴力団等排除措置規則に基づく入札等除外措置を受けておらず、かつ、同規則別表に掲げる措置要件のいずれにも該当しないこと。
⑾ 本工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。受託者が設計共同企業体である場合は、本工事に係る設計業務等の受託者である設計共同企業体の各構成員又は当該構成員と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。
⑿ 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。（入札説明書参照）

3　総合評価落札方式に関する事項
⑴ 総合評価落札方式の仕組み　本工事の総合評価落札方式は、技術評価点（２⑹の技術提案などに応じて付与する点数として最大28点（コスト縮減提案に関する評価点がある場合はこれに加点）、品質確保のための体制に関する評価として最大30点）、ＶＥ提案実績点（過去の応募工事における技術的なＶＥ提案実績に対して付与する点数として最大１点）及び価格評価点（実現可能なＶＥ提案に基づき算出された入札価格を一定のルールに沿って点数化したもの）を加え、評価値を算出し落札者を決定する方式とする。その概要を以下に示すが、具体的な技術的要件及び入札の評価に関する基準等については入札説明書に記載のとおり。
⑵ 評価項目　２⑹の技術提案に関する事項、品質確保のための体制に関する事項。
⑶ 評価及び落札者の決定方法　入札参加者は価格をもって入札し、提出された技術提案に評価項目に応じて付与する点数と品質確保のための体制に関する点数などからなる技術評価点、過去の応募工事における技術的なＶＥ提案実績に対して付与するＶＥ提案実績点及び入札価格を点数評価した価格評価点から、評価値を算出し、次の条件を満たす評価値の最も高い者を落札者とする。［評価値＝技術評価点＋ＶＥ提案実績点＋価格評価点｛100×（１－入札価格／契約制限価格）｝］
① 入札価格が契約制限価格の範囲内であること。
② 技術提案等が適切であること。
⑷ ⑶において、評価値の最も高い者が２者以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定する。
⑸ 履行の確認　技術提案書及び品質確保のための体制に関する所見は契約書に記載するものとする。また、技術提案書及び品質確保のための体制に関する所見に記載された内容については、工事中及び工事完成時に確認できる項目を契約後に提出する施工計画書等に反映させるものとし、工事中及び工事完成後に履行状況の確認及び検査を行う。受注者の責により入札時に提示された技術提案書及び品